

発言テーマ

学生の地域活動における現状と浜田市における地域交通
(学生がより地域に参加しやすい環境作り)

発言者名

浜田若者会議
寺迫 麟

現状の情報整理

課題感

①交通手段

- ・浜田市内はもとより金城町、旭町、弥栄町への交通が乏しく行きたくてもいけない。
- ・レンタカーを借りようとも初心者期間は保険を付けることができない。

②立地

- ・バス停や駅からのアクセスが悪い
- ex: 石見海浜公園

③関係性

- ・地域の方へ送迎をお願いしたいが言いづらいというのが現状

④交通費

- ・手段がなく、高速バスを使っでの活動
- ・バイトを休んで無償のボランティア

もっとこうだったらいいのになと思っていること

①交通手段の確立

- ・条件に問わず借りられるレンタカー
- ・高速バス(金城、旭、瑞穂)の価格を含めた利便性の向上
- ・バス停からのアクセス
- ・最寄り駅、やバス停等からの送迎

②金銭的サポート

- ・バイトを休んで無償より有償だと参加しやすい
- ・高い交通費が負担で継続的な活動が困難に

実現したい理由

発言しようと思った理由・背景・エピソード

- ①自身の活動を通じて**
旭町を拠点とした里山の持続可能な暮らし研究所の活動で市内から旭町までの移動手段に困っている他、せっかく旭町で良いイベントを企画したとしても旭町までの交通手段がないため多くの県大生を活動に巻き込みにくいと感じている。
- ②やる気がある学生がいるからこそ**
浜田市外ではあるが邑南町などの中山間地域で学びたいという意思があり県立大学に入学した学生がいるなかで、限られた交通手段しかないため活動が困難を極めている。また、高速バスの料金も高く高速バス代を稼ぐためにアルバイトを始めるという学生がいるというも現状である。
- ③旭、金城、三隅、弥栄でも**
学生を巻き込みながら活動したい中で、弥栄町でのイベント等で学生メンバーの移動手段、さらにはたの県大生に告知はするものの手段がないが故に巻き込みにくいという課題がある。学生と弥栄、金城、旭、三隅、「浜田」という地域がつながるきっかけがあったとしても交通手段がなければ若者会議としての役割を果たせないのではないかと課題意識がある。
- ④学生生活、全般においても交通が**
地域活動以外においても交通手段が柔軟になれば学生のアルバイトの選択肢の幅が広がるなど学生の生活面においても大きなメリットがあると考えられている。

実現したい未来

学生の生活圏が広域化
(地域活動、バイト)



・学生が交通を気にすることなく地域へ

地域と学生をつなぐという若者会議としての新たな役割

地域と学生の間に新たなつながり



・学生がお金を気にせずに地域活動はできる(交通費、有償ボランティア)

学生が弥栄、金城、旭、三隅などでも活動、生活圏の一部として足を運ぶようになる。

解決のための仮説・アイデア

仮説①: 地域のボランティア活動が無償ではなく有償になると、学生の参加しやすさにつながるのではないかな?

地域側が使える有償ボランティアの制度

仮説②: 交通費の自己負担感が軽減されると、より参加回数や、参加場所の増加につながるのではないかな?

学生が申請できるボランティア交通費補助制度

実行のために必要な事

- ・大学生ができること
日々思うことを赤裸々にリアルな県大生の声として発言、発信して現状を知ってもらおう。現状を踏まえて欲しいのかという点も伝える。
- ・地域の方をお願いしたいこと
学生は地域活動に参加する上で特に交通面でのサポートをお願いしたい。(最寄り駅までの送迎)「学生の声」を行政などに共有、拡散(学生と一緒に)
- ・行政にしかできないこと
学生、地域からの声を基に制度づくりや政策を展開していく
聞くだけでなく逆に問うことで意見や本音ができるかも?
公共交通に対応可能な職員の確保

仮説・アイデアの根拠となるもの

- 【県立大学の仕組み】**
 - ・地域貢献推進奨励金事業
 - ・ボランティア依頼書
- 【浜田市の仕組み】**
 - ・大学等高等教育機関と連携したまちづくり推進事業
- 【県外の仕組み】**
 - ・KOBÉ学生地域貢献スクラム
 - ・学生ボランティア活動交通費補助金(倉吉市)